

働く仲間はたたかうN関労に結集しよう!!

# LALUZ

(ラ・ルース)

2015年3月18日(水)号外/尼崎版

N関労 西日本NTT関連労働組合

発行責任者 兼廣 英治

事務所：尼崎市武庫町 1-36-22 NTT 武庫之荘別館 3F

Tel. 090-8979-5088 Fax. 06-6436-4076

Eメール: kanet@tokushima.email.ne.jp

<http://www.n-kanrou.com/>

15春闘 本日、始業時より拠点ストライキ決行

## 成果主義に偏った 賃上げは許さない

### 高知、潮江ビルでもストライキへ突入

3月10日、先に提出していた春闘要求への回答を受け、NTT西日本本社との交渉を行ったが、賃上げも含め、要求に進展が見られなかったことから、ストライキも止む無しと判断した。

なお、今回の15春闘では尼崎ビルの他に、フィールドテクノ社高知営業所の組合員2名が潮江ビルで尼崎ビルと同時にストライキを闘うことになった。

以下は、本社交渉での議論をまとめたものから抜粋したもの。

#### ■ 14春闘での一人平均1600円の賃上げとは・・・

組合：昨年、14春闘での会社回答はエキスパート職の加給昇給額への僅かな上積みと、レンジ1の天井を上げたこと、小学3年生以下の扶養手当を設けただけだ。それでは賃上げ額一人平均1600円とはならない。中身を教えてください。

会社：昨年4月にレンジ1、2（レンジ1、2はエキスパート職のみ）の社員の加給額を改定し



14春闘でのストライキ模様（尼崎ビルにて）

た。その総額を全社員数（管理者を含め、2012年当時で約5100人）で割ったものだ。

組合：成果主義を意識した賃上げであり、全社員を対象とした賃上げになっていない。

会社：各職場のリーダー層に頑張ってもらって、一人当たり平均1,600円相当の賃上げをしてきた。成果主義を意識したものではない。

※以上の件については現在、調査中であるが、会

社の言葉をそのままに解釈すれば、レンジ1, 2の社員が全社員の5分の1であれば、一人平均80000円の賃上げが行われたことになる。

#### ■状況は厳しいと言うけれど・・・

組合：今回、我々の賃上げ要求に対し、会社回答は例年のごとく見通しが厳しいとしているが、持ち株会社は毎年5000億前後の純利益を得ている。これで何が見通し厳しいと言えるのか。26年度の決算見通しはどうなっているのか。

会社：NTT西日本26年度の決算では、営業利益は309億。今回不動産利益を含んでいるため、これを今年度から外した実質純収益は124億円。昨年比-25億円である。費用削減で利益を上げてきている。前年度より営業収益は落ちてきている。経営状況は厳しい状況だ。

組合：持ち株会社がある以上、NTT西日本の124億の利益だけでなく、OS会社を含めて全社的に見るべきだ。

#### ■NTTグループでの評価基準は・・・

組合：田植裁判でフィールドテクノ社は「人事制度解説書」を歪曲している。本社の見解をお伺いしたい。まず、チャレンジシートの扱いについて再確認したい。本社はチャレンジシートはあくまでも評価する上での参考であると言ってきたが、変更はないのか。

会社：上長とのコミュニケーションのツールになるが強制するものではない。また、出さなければ評価が下がるというものではない。

組合：評価制度の考え方について西日本グループ各社が勝手に判断できると解釈しているのか。

会社：NTT西日本のマニュアル（人事制度解説書）に準拠している。

組合：チャレンジシートは西日本グループで統一されたものか。

会社：西日本グループで統一されたものである。

## 15春闘での要求

1. 一律5万円の基準内賃金の引き上げを行うこと。
2. 夏期・年末合わせて基準内賃金プラス成果手当・扶養手当を合算した賃金6ヶ月分の特別手当を支払うこと。
3. 成果主義賃金制度を廃止すること。
4. 高齢法を順守し、満了型社員を65歳まで雇用延長すること。
5. 強制的な配転となっている満了型社員を地元へ戻すこと。
6. 旅費については見直し以前に戻すこと。
7. NTTグループ全職場においてパワハラ、セクハラの実態調査を行い、健全な明るい職場を目指すこと。
8. 福利厚生を充実させること。
9. 社宅定年制を廃止すること。

組合：フィールドテクノ社は、チャレンジシートに書いていることが達成されないと評価が下がるとしている。

会社：チャレンジシートに書いていることが達成されていない、という事だけで判断していない。その他諸々の側面から判断している。

組合：評価の対象外である「全社員販売の目標」を書いた場合に評価はどうなるのか。

会社：評価の対象外。書いて達成しようが評価には関係ない。

交渉ではこの他に、配転問題、社宅定年制度等について議論されたが、満足な回答を得るには至らなかった。

今春闘においても安倍政権からの賃上げ要請や連合が月例賃金2%の賃上げ目標を掲げていることから、NTTにおいても幾ばくかの賃上げが行われると見て良いだろう。だが、昨年のように一部の社員を対象とした賃上げも予想される。春闘を注視し、反対の声を強めて行こう。